

「土砂災害について思うこと」

宮崎県宮崎市立那珂小学校 5年 有村 奈々花^{ありむら ななか}

わたしの通っている那珂小学校では、今年は特別に土砂災害防止教室を行うことになりました。わたしは、土砂災害についてあまり知らなかったので勉強しようと思って話を聞きました。

土砂災害について分かったことは、山から石や木などがなだれのように落ちてきてかんたんに人や家をおしつぶしてしまうということです。2014年に起こった広島土砂災害は、ニュースで見てこわいなあと思ったことがあります。今回の土砂災害防止教室で模型などでやってみると、もっとこわくなりました。

そして、那珂小学校の周りには、きけんな山がたくさんあるということを知りました。那珂小学校のすぐうらには、たくさん山があります。宮崎は雨も多く台風もよく来るので、いつ土砂災害が起きてもおかしくないという話でした。土砂災害が学校にいる時に起こったら大変な被害になると思います。話をしてくれた土木事務所の方々が土砂災害の前ぶれにはいつもとちがう変化が見られることがあると教えてくれました。もし学校にいる時そんな変化があったら、すぐにひなんしないと命のきけんがあると思いました。

また、車でよく通る道路ぞいでは小規模ながけくずれが起っていてがけくずれを防止するための法枠工が作られていました。

車から見て、

「あっ、勉強したのだ。」

とお父さんお母さんに言いました。

「こんな近くでがけくずれなんてこわいね。」

と、お母さんと話しました。

わたしは3年生の時、東京から引っこしてきました。東京にいた時は土砂災害について考えがありませんでした。でも、宮崎に来て、すぐ近くに山があり、学校のうらも土砂災害のき険性があることを知り、とても不安を感じました。また、土木事務所の方々が教えてくださった土砂災害を防ぐためのし設を付けるのは少しずつ進んでいるそうです。し設を付ければ、土砂災害を完全に防げるというわけではないそうですが、と中で止めたりすることができるそうです。なのでわたしは、早くそのし設が土砂災害が起きそうなき険な山にできたら、もし土砂災害が起きたときにひなんする時間ができると思います。

土砂災害防止教室を終えて、初めて土砂災害のこわさや起きる前ぶれなどを知りました。そして、模型を使って石が転がる速さや、おしつぶされてしまう家を見ました。また、えい像で、土砂災害のおそろしさを知り、いっしゅんで家などがつぶれていてとてもおどろきました。これからも土砂災害についてきょうふを持ち、土砂災害が起りそうな時にはすばやくひなんできるようにしたいです。

わたしは、もっと土砂災害について勉強したいと思いました。そして土砂災害が起きそうな場所は早く工事をして安全にらせるような宮崎県にしてほしいと思いました。